

1 日時及び場所

令和3年2月5日 午後1時10分から1時30分 本庁4階 大委員会室

2 出席者

本部長：市長 副本部長：副市長、教育長
本部長：総務部長、企画財政部長、福祉部長、健康子ども部長、市民環境経済部長、都市建設部長 会計管理者、教育部長、議会事務局長、白井消防署長
関係課長等：総務課長、秘書課長、財政課長、企画政策課長、公共施設マネジメント課長、高齢者福祉課長、保育課長、生涯学習課長、文化センター長、危機管理課長 市民活動支援課長
（事務局） 健康課長、健康課職員

3 議事概要

本部長より

近隣市町の状況 感染者数 241人 一週間くらい前までは印旛管内で一番多かったが、他市も感染者が増えている。感染者を出さないように徹底していきたい。緊急事態宣言が3月7日まで延長となっている。県からの防止策の対策を含め、各施設等をどうするかを再確認したい。

（1）緊急事態宣言延長に伴う対応について

【千葉県の対策について】

- ・緊急事態宣言が3月7日まで延長となっている。
- ・県の対策の内容としては概ね前回と大きな変更はないが、文言が追加されている。
⇒不要不急の外出、移動の自粛に「日中を含め」という言葉が追加されている。
⇒「飲食時は黙食」が追加されている。

各課担当で、今回の延長を受け、対応を変更したい等意見はあるか

【公民館関係】

- 緊急事態宣言延長後、市民の声を確認した。
⇒閉館している他市の施設があるのに白井市はなぜ開館しているのか。
⇒自分の市の施設が閉まっているから白井市に来ている。
⇒日中の不要不急という話があり、日中についても自粛する必要があるのではないか。
- 近隣の状況として、四街道市、富里市、酒々井町が元々休館としているが、引き続き休館とする。今回の延長後変更している市町はない。
- 社会教育施設で利用している人に対し、不要不急と言われているのになぜという声あり。
- 担当課としては、現状の対応を続け、感染者が増加した際は、再度検討をしたい。

【文化センター】

- 他市の状況として、延長後も対応前の継続する市がほとんど。
- 2分の1の座席数等は変更となっていないため、引き続き対応をしていく。

【市民活動】

- ZOOM体験講習会（コロナ対策費補助）
⇒10日間を予定。
⇒定員は1回10名

⇒3月7日までは、予約枠が全て埋まっている。今回の講習会は、各種団体が活動を止めないように事業を実施するので、宣言が延長されていても続けたい。

●施設を閉めるという事は、市の事業等にも影響を及ぼすことになる。現時点で、今以上のブレーキを踏む状況にはないと考えるが、今後、感染者が増加した場合は、全体を統一して対応することとする。

○保育園通常どおり

⇒保育料の日割り計算は行わない

○文化会館の主催事業 2月21日(日) 神田香織一門会

12月15日から販売している 70枚ほど販売 当日販売についても問い合わせがある。継続して実施を予定。

⇒ガイドラインを守りながら実施

○今後もまだ予断を許せない状況、特に高齢者については注意喚起を行い、対応をお願いしたい。